第15回小金井マスターズ開催される
ー名誉幹事 白井透さん（60期）を偲ぶー

第15回小金井マスターズが10月25日に東京都小平市にある名門、小金井CCで参加者40名で行われた。天気快晴の中、長野組6名、女性1名、最年長 和田 裕さん（48期）最年少竹村淳一さん（103期）と近隣遠方・老若男女等多くの参加者があった。当日は新ペリア方式で行われ、優勝者は高梨奉雄さん（62期）（グロス98、ネット71）、準優勝者は芝間志浩さん（72期）（グロス84、ネット72）、3位は由井 崇さん（61期）（グロス104、ネット72）と立派な成績であった。

今回の小金井マスターズは、これまでの14回とは異なり2つの意味を有した大会となった。一つは、このコンペの創設者の一人で、永年幹事を担当されてきた白井透さんが今年7月9日に亡くなり、その追悼コンペとなったこと。もう一つは、上田高校関東同窓会ゴルフ同好会が40回目の節目を迎え、その記念大会をこの小金井マスターズと合同で開催したことである。そもそも小金井マスターズは今から15年前、小金井CCのメンバーの黒澤博身さん（60期）、白井 透さん（60期）、福嶋 宣さん（60期）などが60期の親睦を深めるために、関東や信州の人達が集まり発足した会であった。白井さんは創立時からこの会の幹事を担当しており、その人望が厚い事から評判を聞きつけた60期以外の面々も多く参加するようになった。また、同CCのメンバーである和田 裕さんも当初から参加し、現在は名誉会長として我々後輩を暖かく見守ってくれている。今回も高級ワイン3本差し入れて頂きワイン好きの参加者はニンマリしていた。白井さんは惜しくも7月9日にご逝去され、コンペの後の懇談会で同氏の写真を飾り、60期を中心として各々が同氏の思い出話を語った。特に篠塚嗣雄さんの話は「白井君は、高校時代は私と同じ軽井沢から浅間山を見て汽車通学をし、汽車の中でいつも教科書を開いていた秀才であった。また、友達思いで自分より先に友を心配する人だった」と話され大いに感動した。また、追悼記念としてプリントデザインのケース入り記念ボールを作成し参加者に配った。

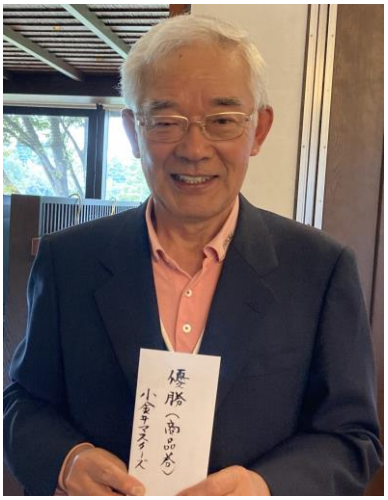
もう一つの関東同窓会40周年記念は、同会が2002年12月にサミットGC（茨城県）で第一回大会が開催され、それから約21年が経過し今回の40回目と節目の大会となった。その間、宮島光男さん（55期）は初代幹事でしかも40回参加の皆勤賞と金字塔を立てた。しかし残念ながら優勝したことは一度もないという事であるが、この先まだまだ希望を捨ててない様子であった。石井光春さん（54期）も創立者のひとりで、最年長、しかも毎回賞品を持参し会を盛り上げてくれる。今回は当時の思い出話を話され、特に第1回は12月初旬に開催し、雨は降っているし寒いしゴルフをやるには最悪のコンディションであったと言う。しかし、最初が散々だった分その後運気が上昇し40回の開催に繋がったという事である。何が幸いするか分からないものだ。参加者は最大47名の時（2012年）もあったが、最近はその半分の20名前後となっている。今回小金井マスターズに40名も参加したので、その内の何人かはゴルフ同好会にも参加して貰うように働きかけたい。

今後は、ゴルフ人口が減少する中、100期以降の若い方や女性の参加者を多く募り、春は千葉県の名門コース千葉CC・川間コースで満開の桜を見ながらプレーをし、秋は東京の名門小金井CCで開催となれば多くの方に参加して頂けると考えている。特に小金井CCは野球で例えれば、甲子園球場か東京ドームに匹敵する。その球場で町の草野球チームがプレーするようなものなので、ワクワクするのも当然である。そこで、2024年の日程が確定したのでお知らせします。春は千葉CC・川間コースで4月5日（金）、秋は小金井CCで10月23日（水）となりました。多くの方のご参加をお待ちしております。

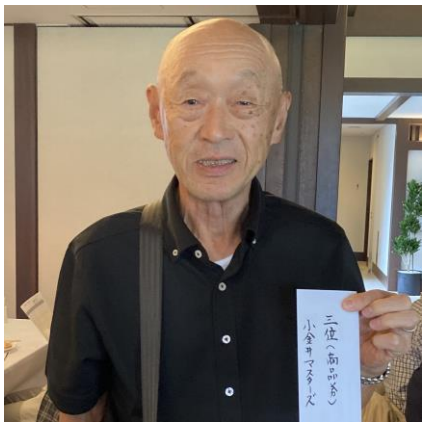
連絡先　jlc3685.b8@gold.zero.jp
幹事代表　古畑克巳（69期）

スタート前の集合写真

準優勝 芝間志浩さん（72 期）

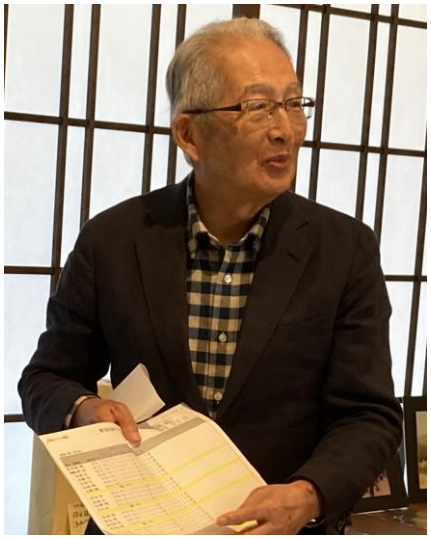


優勝 高梨奉雄さん（62 期）



第 3 位 由井 崇さん（61 期）

懇親会の様子

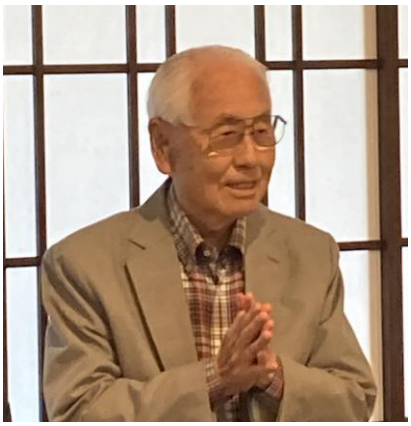


和田 裕さん（48 期）

差入れ頂いた高級ワイン

白井さんの思い出を語る 60 期の皆さん
（左から）黒澤博身さん、福嶋 宣さん、
篠塚嗣雄さん、沼形泰枝さん

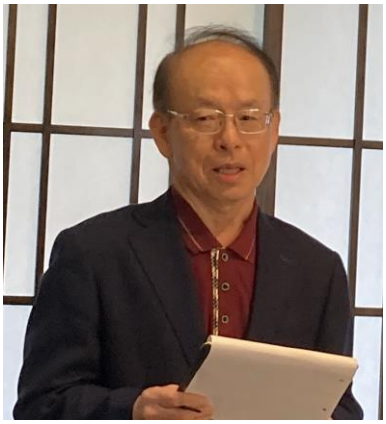
追悼記念ボール



石井光春さん（54 期）

宮島光男さん（55 期）

近藤 関東同窓会前会長



古畑 幹事代表